

# 桜井民報

●編集・発行：日本共産党桜井市委員会  
 ●連絡先：日本共産党吉田ただお事務所 TEL・FAX 46-4930  
 桜井市粟殿1029-5 吉本ビル201号  
 ●ホームページ [日本共産党市会議員 吉田忠雄](#) **検索**

## 吉田ただお

### 6月議会報告

2015年8月号  
NO. 57号



4月の統一地方選挙では、みなさんの大きなご支援で三度議会へと送っていただきました。引き続き、市民の切実な願いの實現に全力で頑張る決意です。  
6月議会では3点について市長を質しました。

## 市指定ごみ収集袋 強度不足

### 市は苦情を把握していたのか

吉田議員

今年2月から3月に日本共産党桜井市委員会が市内1万5千世帯を対象におこなった「市民要求アンケート」から、「ごみ収集袋の強度が弱くなった」と複数の苦情が寄せられた。市は市民からの苦情を把握していたのか。

松井市長

昨年10月頃より、市民からごみ袋の強度が弱くなったという苦情を把握していた。担当からの報告

では、強度は弱くなっているものの使用には耐えるものであったために、市民生活の混乱を避けることを

### 市民へのお詫びと経過説明を

吉田議員

優先して、ごみ袋を販売店に配置したと聞いた。私としては、早急に強度を満たしたごみ袋を配置するよう指示をした。

### ホームページで報告したい

辻本環境部長

①市指定ごみ収集

袋の納入業者の選定については、市登録業者のなかから指名競争入札をおこなっている。

②強度については、外部検査機関による検査結果証明書を出させているが、今後は市場で販売しているごみ袋の検査を実施していきたい。

③市民の皆様にはご不便、ご迷惑をかけたことをお詫びする。早い時期にホームページ等で報告させていただきます。

また、ごみ袋が破れた場合や、欠陥品については返品・交換が必要ではないか。

松井市長

ホームページで報告する内容については、議員の意見を踏まえて現場と調整していきたい。



市にごみ袋の改善を要望する吉田議員

## 市民サービスに差があつてはならない

### 可燃ごみ 祭日・振替休日も回収を

吉田議員

昨年度は月・木コースのごみの収集業務が、月曜日が祭日あるいは振替休日となることもあり、火・金コースよりも3日間も収集日が少なかった。

地域によって収集日数に差が出ることに於いて市民に不公平感がある。祭日や振替休日であっても、収集すべきだと思えるが。

松井市長

すべての祭日と振替休日の対応には困難な面があるが、市民サービスに支障が生じないように現在も検討している。

吉田議員

今年度上半期のクリーンカレンダーは、7月20日(月)、9月21日(月)は海の日あるいは敬老の日でゴミの収集はできない。

れない。

7月から9月にかけては、1年中で一番暑い時期でもあり、ごみを各家庭で保管することに於いては、生ゴミが腐敗し衛生面でも問題がある。

桜井市の近隣でも、大和高田市や橿原市、五條市では、祭日、振替休日であっても、ごみの収集業務をおこなっている。

検討ではなく実施をしていただきたい。

### 海の日については回収する方向で

辻本環境部長

ごみ収集の対応には職員の出勤等課題もあるが、7月20日の海の日については、回収する方向ですすめている。

9月の敬老の日については、課題も踏まえたなかで検討をしている。

# 桜井市ごみ焼却施設のダイオキシン濃度基準値超過

## 溶融炉の安定的な運転管理と処理灰の適正な処理ができているか

**吉田議員**

現在、溶融炉の安定的な運転管理の徹底や、処理灰の適正な処理がおこなわれて、ばいじん処理物のダイオキシン類濃度、あるいは周辺施設の大気について適正值が確保できているのか。

**松井市長**

ばいじん処理物および焼却不燃物については、一定の排出量ごとにダイオキシン類濃度の測定分析を実施し、基準値以下であることを確認してから処分をしている。

直近の4月の分析結果では、ばいじん処理物が0.39ナノグラムTEQ/グラム、焼却不燃物が0.83ナノグラムTEQ/グラムと、いずれも基準値である3ナノグラムTEQ/グラム以下で適正值を確保している。

**吉田議員**

現状よりさらに低いレベルでばいじん処理物のダイオキシン



桜井市グリーンパークごみ焼却施設

ン類濃度管理するために、恒久対策として

加熱脱塩素化装置(ダイオキシン除去装置)を、今年4月までに設置することになっていくが、どうなっているか。

すでに設置しているのであれば、効果は検証されているのか。

**5月より本格稼働に**

**松井市長**

加熱脱塩素化装置については、4月末で設置工事を完了し、5月より本格稼働に向け調整に入っている。

近々、運転報告とダイオキシン類濃度の測定分析結果が出る予定で、効果を検証することになっている。

# 国民の反対 踏みにじる

# 暴挙

# 戦争法案 強行採決

## 憲法違反明白、廃案しかない

法案の今国会成立	法案の合憲性	法案の説明
必要ない66%	違憲と思う52%	十分説明していない80%
必要ある19%	思わない29%	説明している13%
(朝日)	(毎日)	(読売)

自民・公明の与党は7月16日衆議院本会議で戦争法案を強行採決しました。法案は審議すればするほど反対が増え、世論調査では5~6割が「違憲」、8割が「政府の説明は不十分」、6割が「今国会成立反対」です。採決強行は、国民の反対と慎重審議を求める世論を踏みにじる暴挙です。

法案は、米国いいなりで憲法9条を全面的破壊、日本を「海

外で戦争をする国」にしようというものです。国会審議や国会での参考人の発言などを通じて、憲法違反であることが明白になっています。どんなに審議を重ねても「合憲」にはなりません。法案は、「廃案・撤回」するしかありません。成立阻止へ今こそ声をあげましょう。

# 発展

## 戦争法案反対 劇的に

**学者アピールに 8952人**

学者61人が呼びかけた「安保関連法案」のアピールへの賛同は、1カ月足らずで9000人近くに

**宗教者 宗教・宗派こえ**

真宗大谷派は宗務総長名の宗派声明、本山修験宗は撤回決議、天台寺門宗・総本山三井寺は廃案求める声明を。

**全弁護士会が 意見書**

日本弁護士連合会は、役員85人(全国52の単位弁護士会の会長全員を含む)が全会一致で意見書提出。



「戦争法案」廃案を訴える吉田議員